文星芸大附 now!

文星芸術大学
附属中学校・高等学校
〒320-0865
宇都宮市睦町1-4
電話(028)
636-8000（中学直通）
636-8585（高校直通）
http://www.bunsei-ai1.ac.jp
発行　教務部・学報編集係

創立者上野安紹先生と創立記念日

文星芸術大学附属中学校・高等学校長　上野憲示

六月八日は、本校の建学九十八年の創立記念日であった。この日は、本学園の創立者、上野安紹（やすのり）先生の誕生日である。正門を入ると正面に安紹先生の像が見えてくるので、毎朝通学してくる生徒諸君にとって、その姿は馴染み深いものになっているかと思う。本校はその安紹先生によって、明治四十四年（一九一一年）に「宇都宮実用英語簿記学校」として創設された。

安紹先生は、早稲田大学の草創期に尽力し、「早稲田の四尊」にあげられる天野為之博士に師事した後、子弟教育のため、郷里宇都宮の地に、「宇都宮実用英語簿記学会」を設立した。この私塾を学校へと発展させたのが本校の興りである。

天野博士が第二代総長をお辞めになり、早稲田実業の校長に移られると、安紹先生は副校長職を務め、週に三回は上京して学校経営に参画していた。そんな縁もあって、大正四年に校名を「宇都宮実業学校」と改称し、早稲田実業を兄と見立て、本校をその弟校として発展整備した。また、昭和四年には、現在の宇都宮文星女子高校に繋がる「宇都宮女子実業学校」を創立している。

創立者上野安紹先生は、文星附属・文星女子両校にとって建学の父であるが、その活動の場は学園内に留まらず、県議会議員も務め、教育、政治、文筆活動にと幅広く活躍した。そうした激務の中、過労心労が重なり、不幸にも病に倒れ、昭和五年二月二十日に急逝した（この命日の日には卒業生の門出を祝福して「予餞（よせん）会」が催されている）。

その安紹先生の後を継いだのが、上野秀文（ひでふみ）先生である。父を亡くした時には、皆さんと同じ年頃の旧制中学の四年であった。その後、早稲田大学へ進み、卒業後は本学に戻って校長に就任し、以来、本学園の理事長職を永く務めた。

その秀文先生によって、昭和二十三年、学制改革を契機として、宇都宮学園高等学校（高等科・男子部・女子部）と組織変更される際に、創立者安紹先生の誕生日を学園全体の新たな創立記念日として制定した。これが、創立記念日の由縁である。

梅雨空も遠のき、いよいよ、夏も盛りを迎えようとしている。そうした中、学業、部活動両面で、諸君の活躍が期待される。

部活動では、陸上競技部、卓球部、珠算部が全国大会出場を決めた。また、夏の甲子園出場をかけた硬式野球の県下大会も開幕した。本校には三年連続出場の期待がかかるが、選手諸君は、そうしたプレッシャーをはね除け、悔いを残さぬよう、全力を尽くしてもらいたい。応援に参加する生徒諸君は、熱中症にならぬよう気をつけ、精一杯の声援を送ってもらいたい。

夏季特別教育活動期間の取り組み方次第で、一人ひとりの夢がかない実現する。生徒諸君それぞれの健闘を期待する。

文星芸大附now！は、平成17年4月に、文星芸術大学附属中学校の開校に合わせて発刊されました。

中学校行事予定

▽七　月

19日(土)～22日(火)　県中総体宇河地区大会
22日(火)～24日(木)　保護者会
22日(火)～25日(木)　サマースクール（学校開放）
28日(月)～30日(水)　英語研修（ブリティッシュヒルズ）
30日(水)～8月1日(金)　サマーキャンプ（羽鳥湖高原レジーナの森）

▽八　月

18日(木)～20日(水)　イングリッシュキャンプ（冒険活動センター）
22日(金)　全校登校日
25日(月)～29日(金)　夏季講習会

▽九　月

1日(月)　第二学期始業式
課題整理テスト
6日(土)　オープンキャンパス（生徒臨休）
17日(水)　校内英語スピーチコンテスト
20日(土)　スポーツフェスティバル
26日(金)～28日(日)　中体連新人宇河地区大会
27日(土)　入試相談会

高校行事予定

▽七　月

19日(土)　大学進学説明会（全学年）
22日(火)～31日(木)　就職希望者クラス別面談
22日(火)～29日(火)　前期夏季ゼミ（特進・英進）
22日(火)～31日(木)　前期夏季ゼミ（普通科進学）
26日(土)　PTA支部懇談会（不参加者対象）
30日(水)　全校登校日（甲子園出場時）

▽八　月

14日(木)～15日(金)　河合塾第二回全統マーク模試（三年）
18日(月)～24日(日)　後期夏季ゼミ（普通科進学三年）
19日(火)～28日(木)　後期夏季ゼミ（特進・英進）
22日(金)　全校登校日
23日(土)～24日(日)　一日体験学習（中学生対象）
25日(月)～28日(木)　後期夏季ゼミ（普通科進学一・二年）
28日(木)　就職希望者書類提出日

▽九　月

1日(月)　第二学期始業式
4日(木)　入試説明会（生徒臨休）
8日(月)　就職試験出陣式

1ｐ　＜学校長より＞
2ｐ　＜夏季特活を迎えるにあたって＞
3ｐ　＜輝け！！文星健児＞
4ｐ　＜夏季特活期間の過ごし方＞
5ｐ　＜介護福祉体験・茶道体験＞
6ｐ　＜文星フォトギャラリー＞

高等学校

夏季特別教育活動期間を迎えるにあたって

「有意義」な時を

生徒指導部長
大塚　晃

夏季特別教育活動期間は、自主的に計画を立案し成果をあげるとともに、自己啓発の絶好の機会になります。しかし一方では、さまざまな誘惑に陥りやすい時期でもあります。そして休みの開放感から思いがけない事故も起こるので、軽率な行動をつつしみ注意しなければなりません。

現代における家庭や地域社会の変化は、人間関係や直接体験を失わせ、青少年を孤独に追いやり、モノとしか向き合わないような状態をつくり出しています。豊かな人間関係をつくり、基本的生活習慣を確立させるためには、親子の対話の時間を増やし、寝食をきちんとさせることが大切であり、それが、子どもの心に潤いを与え、明日へのエネルギーを蓄えさせます。夏休みは長い期間学校から離れて生活することになりますが、親と子のふれあいを深めるよい機会でもあります。また、自転車の運転や携帯電話の使用には特に注意して、夏休みの開放感から自己を見失い、間違っても問題行動等を起こすことの無いようにし、この時期を有意義に過ごしてください。

進学希望の皆さんへ

進学指導部長
大越　研介

三年生の皆さんにとっては、勝負の夏です。

大学、短大に進学する者は、「夏を制する者は、受験を制す」です。この夏じっくりとしっかりと受験勉強に取り組み、一つ一つこなしていくことが、地味ですが、一番の早道であり、これ一本しか合格への道はありません。自分は「AO入試だから勉強はしなくてもいいんだ」「小論文さえやっていればいいんだ」などと考えていたら大問題です。最終的には、一般入試まで考えていなければ、みじめな最悪の結果になりかねません。今まで勉強してきた教科書の中味を、もう一度やり直し完璧にしてください。

専門学校を希望している者は、「先の仕事を見越して学校を選択したかどうか」検討してください。自分の選択が間違っていると、ミスマッチを起こし学校に行かなくなったり、学校を辞めたりすることになってしまいます。この一歩のミスが自分にとって大きなミスとなり、大きく人生からドロップアウトすることになりかねません。昨今の陰惨ないくつかの事件も原因は、そんなつまずきにあるかも知れないのです。今一度、熟考して下さい。

二年、一年の進学希望の生徒は、大学・短大・専門学校に対する知識を深める時期です。まず、インターネットや情報誌などから、自分の興味ある学校を選び、オープンキャンパスに参加しましょう。少なくとも二、三校は見学できるようにしましょう。そして、できればその学校のことをレポート用紙にまとめてみるといいと思います。もし分からないことがあったら担任や学年の進学担当の先生に相談してください。

就職希望の皆さんへ

就職指導部長
湊谷　浩司

今年も七月一日より求人受付が始まり、県内外から多くの企業関係者が来校し求人の依頼を受ける。一時期の就職難が遠い昔のように思えるが、たった四、五年前の話である。今年などは逆に、採用氷河期ともマスコミで報道され、採用関係者は人員確保のため必死に活動している。その中、誤解して困ることが、誰もが簡単に希望する会社へ入れると思い込むことである。報道関係が、就職有利という活字を並べても、あくまでも採用権は企業側にあり、その採用レベルを超えないと内定はもらえないのである。

就職を希望する生徒諸君は、この夏休みの過ごし方が就職を大きく左右することは言うまでもなく、どこまで自己覚醒、自己改革が出来るか挑戦して欲しい。また来年、多くの生徒が秋から始まる就職試験に向かい精神的にも人物的にも成長してゆく中、今年の三年生諸君も大いに成長していくことを期待する。

創立記念式典挙行

去る六月六日、本校は九十八回目の創立記念日を迎えた。生憎の雨であったが、体育館において記念式典が挙行された。理事長と学校長の訓話をいただき、来るべき創立百年に向け、生徒・教職員一同は伝統の重みを改めてかみしめた。

（写真は裏表紙に掲載）

新任教員紹介

大木　廣巳
（副教頭）

はじめまして。私が県立高校での勤務を通して本校を外から見ている時に感じていたことは、生徒の皆さんの元気良さと挨拶の良さでした。このような学校で仕事ができることを大変うれしく思っています。それに、県立高校生の中には隠れ文星附属ファンが多くいました。その意味でも、本校の良さをもっと多くの人に知ってもらうように精一杯努力していきたいと思います。どうぞよろしく。

池澤　昌憲
（商業）

はじめまして池澤昌憲と申します。本校にお世話になり、早いもので一ヶ月が経ちました。生徒のみなさんからの礼儀正しい明るい挨拶で、毎日元気をもらっています。

商業科目の授業を通じて、これまで十年間、社会経験で培ったことを十分に活かし、少しでもみなさんに伝えられればと思っております。まだまだ未熟ではありますが、本校のため、また、生徒みなさんのために少しでも力になれるよう精一杯努力していきます。よろしくお願い致します。

輝け!!文星健児
～部活動報告～

六月から県内各地において、全国高校総体県予選会（以下インターハイ県予選）が開催されました。各部ともに全国の舞台を目指し、普段の練習の成果を出し尽くした戦いが繰り広げられました。その主な結果を中心にお伝えします。
※（普）＝普通科
※（総ビ）＝総合ビジネス科

陸上競技部
古渡選手砲丸投げで北関東を制覇!!

六月二十日（金）から二十三日（月）に駒沢オリンピック公園陸上競技場で行われた、関東高等学校陸上競技大会において、古渡亮太選手（普二年）が、砲丸投げで北関東地区優勝を果たした。

七月に埼玉県熊谷市で開催される、第61回全国高等学校陸上競技対校選手権大会出場を賭けた今大会は、北・南関東地区ごとに競技が行われ、予選を勝ち抜いた猛者たちがしのぎを削った。古渡選手の渾身の投擲は県総体の記録を上回り、見事に激戦を制した。また、円盤投げにおいても3位入賞を果たし、2種目でのインターハイ進出を決めた。

《関東大会結果》
◆古渡　亮太
【砲丸投げ】
15メートル26（優勝）
【円盤投げ】
41メートル38（3位）
（インターハイ出場決定）

卓球部
インターハイ県予選 個人鈴木選手全国へ

六月十三日（金）から十五日（日）に県内3会場で行われたインターハイ県予選会に本校卓球部が出場し、鈴木誠選手（普三年）が、個人の部で3位入賞を果たした。

五月末の関東大会で準優勝を果たし、勢いに乗る鈴木選手。準決勝で今大会個人の部を制した稲見選手（作新学院）に敗退したものの、順位決定戦で持ち直し、八月に埼玉県春日部市で開催される第77回全国高等学校卓球選手権大会（インターハイ）出場を決めた。

また、鈴木選手は六月二十一日（土）、二十二日（日）に行われた国体県予選会においても個人の部で優勝を果たし、山梨県で行われる関東ブロック大会への出場も決めている。

《関東大会結果》
（群馬県ぐんまアリーナにて）
個人の部
◆鈴木　誠　準優勝
《インターハイ県予選》
個人の部
◆鈴木　誠　3位
（インターハイ出場決定）

テニス部
16年ぶりの快挙!! 総体県予選準優勝

五月三十一日（土）から六月二日（月）、六月十四日（土）の4日間にかけて行われたインターハイ県予選に本校テニス部が出場した。

最終日の団体トーナメント。順調に駒を進めた本校テニス部は、準決勝で見事強豪作新学院を下し、決勝進出を果たした。決勝で宿敵足工大附属に敗れ、インターハイ出場を逃したものの、県ナンバー2に16年ぶりに返り咲いた功績は堂々たるものである。

七月に開催される関東ジュニア選手権大会（前号にて紹介）や一年生大会に向け、悔しいながらも十分な弾みをつけた今大会。これからの活躍に注目したい。

珠算部
10年ぶりの快挙 全国大会へ

六月七日（土）佐野松陽高校において、第55回全国高等学校珠算競技大会県予選会が行われ、本校珠算部の鈴木章太君（総ビ三年）が《電卓の部》で優勝し、全国大会出場を決めた。

八月二日（土）から東京都立荒川商業高校で行われる全国大会でも、大いに活躍を期待したい。

甲子園への道

七月十一日（土）より第90回全国高等学校野球選手権栃木大会が開幕した、主将中山鐘太選手（普三年）は抽選後、記者のインタビューに対し、「先輩達から引き継いだ『最後まであきらめない気持ち』を大切に、今年も優勝を目指したい」と力強く答えた。

文星ナインの活躍を、ぜひ球場で応援しよう!!

《応援日程》
部活動友情応援（二回戦）
七月十七日（木）予定
一年生応援（準決勝戦）
七月二十四日（木）予定
二・三年生応援（決勝戦）
七月二十五日（金）予定
※甲子園出場の場合、七月三十日が登校日となります。

～教育実習生紹介～

五月二十六日（月）から三週間、本校の卒業生である平石基了先輩（東海大学四年）が教育実習（保健体育）を行いました。

《平石さんのメッセージ》
今回の実習は自分自身にとって、とても良い経験になりました。初めは緊張のため、授業をするのが精一杯で、生徒と上手くコミュニケーションがとれませんでした。しかし、先生方のご指導や、生徒のみなさんが積極的に声をかけてくれたおかげで、充実した実習を行うことができました。

私は教師になるという自らの夢を実現するため、この実習での成果を今後の大学生活に活かし、精進していこうと考えています。みなさんも夢の実現に向けて、勉強や部活動に励んでください。三週間、本当にありがとうございました。

新聞記事掲載
～英進科の取り組みが紹介されました～

五月二十五日（日）、読売新聞栃木版の「教育ルネサンス」欄に、本校英進科の進路指導の取り組みが『学ぶ意味気付かせ成果』との見出しで大きく紹介されました。これは、躍進する本校英進科に対して、新聞社側から取材の申し入れがあり、書かれたものです。

記事は、昨年度の英進科の卒業生が著しい進学実績を上げたことに触れ、「高校三年間をかけて『生き方』を学ぶ、綿密な進路指導が成果につながっている」と書かれています。

また、毎時間四百字のレポートを書く「総合学習の時間」や、予習・復習が欠かせない各教科の授業、授業後の自主学習時間の設定で、生徒たちの学習意欲が向上していることが書かれ、「第一志望校として選ばれる学校を目指す」本校英進科の取り組みが紹介されています。

各部活動や英進科の実績で、文武両道に活躍する本校生に対し、地域社会からますます高い注目が集まっていることがうかがえます。

中学校

夏季特活期間中の過ごし方について

教頭　阿久津　功

七月十九日～八月三十一日まで四十四日間に渡る長い夏季特活期間が始まります。いわゆる楽しい夏休みが始まるわけですが、無事元気に第二学期を迎えるための留意点を私の経験からいくつか述べますので参考にして下さい。

一、「夏季特活期間中の行事計画表を作る」

楽しい夏休みを過ごすためには、まず計画を立てることから始めましょう。

夏季講習会、サマースクール、全校登校日、各学年行事、家族旅行、学習計画、読書計画、地域の行事などを計画表に記入することから始めましょう。その中で、特に学校行事を最優先し、宿題などは早めに終了させる計画を立てて下さい。

二、「事故にあわない・怪我をしない」

一年間で最も長い休みですので、とにかく毎日事故にあわないように、また怪我をしないように、慌てず細心の注意を払って、行動するようにして下さい。特に、水の事故・交通事故には気をつけて下さい。プール・河川・海に行く時には、特に注意して欲しいと思います。

三、「家族と一緒に過ごす」

夏季特活中は、家族中心の生活になるわけですので、家族の人となるべく一緒に行動するようにして下さい。たとえば、どこかに家族旅行に出かけ、様々な地域の社会勉強をしてもらいたいと思います。また、家の手伝いをして下さい。たとえば、掃除、洗濯、食事の手伝いなど何でもいいですから自分から積極的に家事の手伝いをするようにして下さい。きっと感謝されると思います。また、外出する場合は、必ず行き先と帰宅時間を言ってから出かけて下さい。さらに、不審者などからの誘惑には、絶対に乗らないという強い意志を持って下さい。

四、「自主的に学習をする」

最初に、夏季特活期間の学習計画表について述べましたが、その中で、毎日、最低三時間は学習する時間を立ててみましょう。急に別な予定が入った場合は翌日に学習する、という習慣をつけて下さい。学習（勉強）は、「自分の将来のためにするものであり、両親や先生に言われてするものではない。自分から自主的に目標を立ててするものである。」という認識が出てこないと学力向上は望めません。したがって、まずやる気・情熱を出して、毎日地道に努力することが、将来の目標を達成する秘訣です。学力向上には、目標設定・努力・忍耐・根性が必要条件です。

夏季特活中の過ごし方という事でいくつか述べてきましたが、何事も前向きに明るく考え、目標を立てて積極的に行動することが大切であると考えます。夏季特活中、生徒諸君が何か自分で目標を立てて、毎日充実した日々を過ごして欲しいと思います。どうか、生徒諸君が皆、楽しい夏季特活期間を過ごし、第二学期元気に登校することを願っています。

教育実習生紹介

五月二十六日(月)から六月二十一日(土)の四週間に渡り、本校英進科の卒業生である藤原光一郎先輩が教育実習に来ました。担当教科は保健体育で、現在、福島大学人間発達文化学類スポーツ・芸術創造専攻の三年生です。HRは二年生を担当しました。

初めは、生徒たちも緊張している様子でしたが、実習が終わるころには、生徒から「文星の先生になってほしい」という言葉がきかれるようになりました。また、授業のほうは、体系的にサッカーを指導する授業の計画を立て、生徒達は基礎をしっかり習得できました。

四週間という期間でしたが、藤原先輩にとっても生徒にとっても貴重な思い出になったことでしょう。

授業風景

転校することになって

アメリカで頑張りたいこと

三年一組　福山　尚人

今年の八月から三年一組の福山尚人君が家庭の都合で、アメリカで生活することになりました。一足早く本校を巣立ち、高校生になるということで、アメリカに渡ってからの抱負を書いてもらいましたので、紹介したいと思います。

僕は、父の仕事の関係で今年の八月からアメリカで暮らすことになりました。アメリカの学校は、日本に比べると半年早く新年度がスタートするので、九月には高校生になります。まずは、学校生活やアメリカの生活に慣れ、勉強を頑張り、授業の内容が理解できるように努力したいです。また、小さい頃からやっているレーシングカートを続けていきたいです。

中学校生活を振り返ると、行事の中で、インディーのレース観戦に行ったことが印象深いです。なぜかと言うと、日本ではメジャーでない、モータースポーツを共通の話題としてみんなと話ができたからです。アメリカは、モータースポーツの本場ですから、日本と違い競技人口が多く、なかなか勝つことは難しいと思いますが、自分の好きなことを精一杯頑張りたいです。また、アメリカの人と積極的にコミュニケーションを取り、英語力をつけていきたいと思っています。

最後に、一番大切なことは何事にも全力で頑張ることだと思います。僕は、勉強や部活動、カートのどれか一つでも手を抜いてしまうと、満足できない結果になってしまうことが多かったので、そうならないようにしたいです。

アメリカは、文化も言葉も日本とは大きく違います。僕は、文星中で学んだ「ライオン主義」を忘れずに、アメリカに行っても、何事にも全力で取り組み、一生懸命頑張ってきたいです。みなさんお元気で！

左から
阿久津先生、福山、齋藤(良)、稲澤先生

介護福祉体験

総合学習の一環として、六月二十八日(土)に介護体験学習が行われました。実際に不自由な体験をしてみて、高齢者や障害を持つ方に対する理解を深めたり、思いやりの気持ちを持ってほしいと企画されたものです。

一年生は主に高齢者の擬似体験が出来る〝未来ちゃん〟を使った学習を行いました。物が見えにくくなる特殊な眼鏡をかけたり、おもりをつけるなどして、高齢者の身体的な機能の低下を擬似的に体験した生徒たちからは「動くのが大変」「階段を降りるのが辛い」などの声が聞こえてきました。

車いす体験

また、昨年度すでに高齢者体験を経験している二・三年生は、アイマスクや車椅子を使って、障害者体験学習を行いました。アイマスクをつけるだけでも、「周りが見えないことが不安」「いつもと違っていて疲れた」などの感想があがり、車椅子に乗った生徒からは、「意外と手の筋肉を使う」「スピードが出ると怖い」などの意見が次々と出されました。

高齢者体験（未来ちゃん）

体験の最後には、各グループに分かれて話し合いが行われ、それぞれの成果を発表し合いました。発表会での生徒の感想を一部ご紹介します。

［生徒の感想］

今日の福祉体験を通して、お年寄りのつらさが良くわかりました。今後、お年寄りを介護する機会があれば優しくしてあげたいと思います。

中・大連携授業

六月二十六日(木)、文星芸術大学の島野安雄先生を講師に迎え、中学・大学連携の授業が実施されました。島野先生の研究分野は地球科学(特に河川や地下水に関すること)ということで、この日は「世界の水のあれこれ」と題し、約2時間にわたる講義をしていただきました。

「太陽系の中で液体としての水は地球にしかなく、水がなければ生命は生まれなかった」という講話の後、なぜ地球にだけ水があるのか、水の大切さなどについて、視聴覚教材を用いての説明を受けました。

少々難しい内容も含まれましたが、島野先生の講話に熱心に耳を傾けている中学生の姿が見られました。

講義の様子

社会科見学

六月六日(金)に社会科見学で今市発電所に行きました。この発電所は、落差約五百メートルもある国内最大の揚水式発電です。揚水式発電というのは、夜間、電気量の少ない時にポンプで水をくみ上げておき、昼にはその水を利用して発電するという仕組みです。見学中に生徒からたくさんの質問が出るなど、環境問題を考える良い機会となりました。

ダム見学後は、壁の高さが二メートルもあり、ゴールまでの平均時間が四十分という巨大迷路パラディアムに行きました。生徒は巨大迷路に苦戦していましたが、必死にゴールを探し、全員がゴールできました。

ダム見学の様子

球技大会

六月七日(土)に生徒会主催の球技大会が行われました。本年度の実施種目はサッカーで、チームは縦割り班で編成しました。上級生と下級生では、力の差があるものの、チームで協力し、それぞれの持っている力を発揮し頑張っている姿が見られました。

結果は次の通りです。

優勝　Aチーム
準優勝　Fチーム
三位　Cチーム

茶道体験

六月二十日(金)に宇都宮市文化会館において、裏千家茶道関東地区大会が開催されました。今回、宇都宮文星短期大学の講師である高山典子先生から招待していただき、茶道体験講座に参加しました。

初めに、茶道の基本的な作法を学び、実際にお茶を点てるなどの体験をしました。その際に、お家元の千宗室先生にも来ていただきました。茶道を通して、日本の文化に浸る貴重な一時でした。

将棋部県大会二連覇

六月二十一日(土)に文部科学大臣杯第四回小・中学校将棋団体戦の県予選が行われました。昨年度は二チームしか参加しませんでしたが、今年度は四校五チームの参加があり、厳しい戦いが繰り広げられました。

結果は、本校Aチームが三勝一敗で見事優勝し、Bチームは、一勝三敗で五位でした。Aチームは、県代表として東日本大会に出場します。昨年の東日本大会では全敗と力の差を見せつけられてしまいましたが、今回は、まずは一勝できるように頑張ってもらいたいと思います。

Aチーム　右から菊地(優)一年、小倉　三年、飯野　三年

文星フォトギャラリー

創立記念式典

高所作業教育講習／自動車整備

洋菓子実習／調理

栄養講習／スポーツ

文星芸大体験実習／ゲーム・ＣＧ

自衛隊体験学習／総合体験

茶道体験／附属中学校

球技大会／附属中学校